

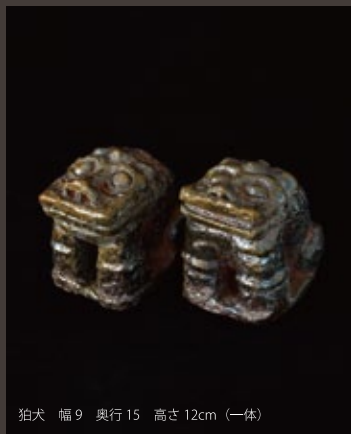
田中孝太展

唐津アドレナリン

十一月三日(土)―十一日(日) 会期中無休



三島双魚紋小皿 直径 12 高さ 3cm



狛犬 幅 9 奥行 15 高さ 12cm (一体)



斑唐津片口 幅 16 奥行 12 高さ 7cm



掻き落し鉢 直径 20 高さ 6.5cm



朝鮮唐津茶碗 幅 13 奥行 11 高さ 7cm



三島鉢 直径 23 高さ 7.5cm



陶人 幅 3.5 高さ 8.5 厚さ 2.5cm



掻き落し扁壺 幅 15 奥行 13 高さ 16cm



粉引そば猪口 口径 9 高さ 6.5

料金後納
ゆうメール

田中孝太展 唐津アドレナリン
二〇一八年十一月三日(土)～十一日(月) 会期中無休
営業時間 十一時～十八時 作家在廊日 十一月三日(土)・四日(日)

田中孝太さんは佐賀県唐津市で作陶しています。大学卒業後に、手に実感のある仕事を求めて有田窯業大学に入り直します。焼き物の基礎を学んだ後に、韓国に渡り金栄吉氏のもとで1年半修業。帰国後、さらに唐津の中川自然坊さんのもとで最後の弟子として1年半の修業を積みました。2011年に自然坊さんが他界され、2012年に独立、唐津の北波多と相知の境にあたる場所に窯を築きました。窯は煉瓦を使わず粘土だけで作った古い韓国式の窯。何度もの失敗を経て、現在に至ります。効率を求めるよりも、手間を通して生まれる器に宿る美を信じています。手掛けるのは、朝鮮唐津、斑唐津、絵唐津、三島手、粉引など唐津や朝鮮陶磁など全般に及びます。田中さんの器の魅力は、自然坊さんから受け継いだ力強い造りと、韓国で学んだ素朴な向き合い方です。一見すると荒削りな印象もありますが、むしろ素朴で飾らない芯の強さが勝ります。窯を焚く度に気持ちが高揚するそうです。その湧き出るアドレナリンが田中さんの器には流れているのです。現在は、お茶を学び、狛犬研究会に所属し、焼き物づくりの下地となる教養を身につける努力もしています。30代も半ばを迎えますが、唐津の中ではまだ若手。これから有望な作り手なのです。初めてご覧になる方も多いと思います。皆様のアドレナリンが高まる展示会になることを願っております。 店主

田中孝太プロフィール

1984年 山口県生まれ
2009年 有田窯業大学卒業
2009年 韓国 金栄吉氏に師事
2010年 唐津 中川自然坊氏に師事
2012年 唐津にて独立

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6
TEL 049-298-8715
MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり]～[喜多院前]
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス]～[喜多院]
車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5～8番)